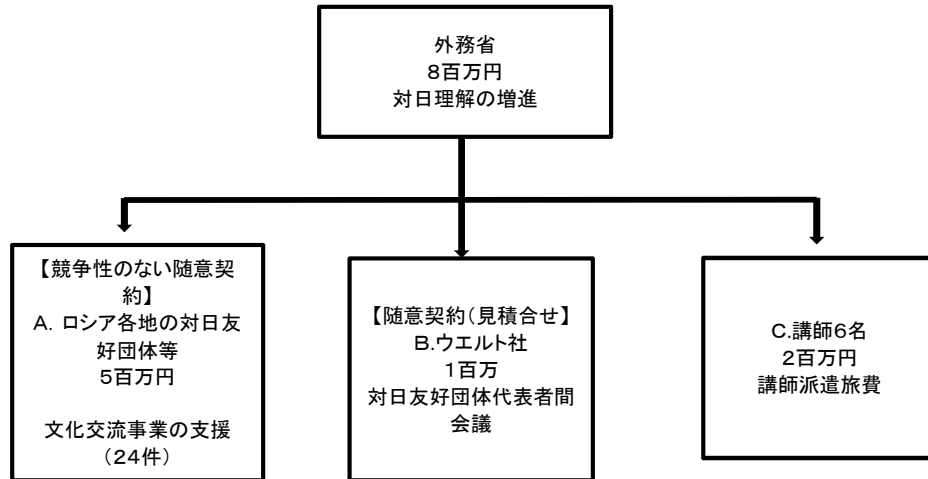


平成23年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	日露草の根交流事業		担当部局庁	欧州局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成10年度開始		担当課室	ロシア課		課長 岡野 正敬			
会計区分	一般会計		施策名	I-4 欧州地域外交					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第15号及び第16号		関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ロシア国内で活動する対日友好団体への支援を通じ、モスクワのみならず、地方における文化交流活動の一層の拡充及び対日理解促進を図るとともに、ロシア国内における良好な対日感情を醸成し、北方領土返還に向けた環境整備の一助とすることを目的としている。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ロシア国内48地域で活動する対日友好団体である露日協会の地方支部、又は、その他の友好団体が行う文化事業を支援し、又は、これら団体と大使館、総領事館との共催で事業を行う。								
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		補正予算	—	—	—				
		繰越し等	—	—	—				
		計	9	10	8				
		執行額	8	8	8				
	執行率(%)	90%	83%	105%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	成果目標: 対日理解促進、ロシア国内における良好な対日感情の醸成。 成果実績: 文化事業への参加者数		成果実績	人	10,000	10,734	15,058		
			達成度	%	100	107	140		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	文化交流事業件数		活動実績 (当初見込み)	実施件数	18	19	24 (21)	— (24)	
単位当たりコスト	(340千円/件数)		算出根拠	執行額÷事業件数					
平成23年度 (単位:千円) 予算内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	対日友好団体代表者間会議開催費		1999	1786					
	講師、通訳等謝金		1914	1008					
	資料作成、会場借料等		1594	1487					
	講師派遣旅費		1194	1826					
計		6701	6107						

事業所管部局による点検			
	評 価	項 目	特記事項
目 的・予 算 状 況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	北方領土返還に向けた環境整備のため。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資 金 の 流 れ、使 途・費 目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活 動 実 績、成 果 実 績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点 検 結 果	日露草の根交流事業では、日露間の友好団体等の交流促進を進めるため、対日友好団体会議の実施を柱として、文化事業を実施しているが、在外公館から要望があっても文化人等派遣旅費が足りないため、日本から人を派遣できず、交流の観点からは不十分であった。24年度要求では文化人等派遣旅費を増やし、より交流が促進されるよう改善を図る。		
予算監視・効率化チームの所見			
一 部 改 善		事業見直し、単価見直し等による減	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減(事業見直し、単価見直し等による減)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.ロシア各地の友好団体			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	その他	デモンストレーション経費(会場借料, 謝金, ポスター等作成費)	5			
	計		5	計		0
	B.ウエルト社			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	その他	会議開催経費(旅費, 謝金等)	1			
	計		1	計		0
	C.専門家			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	その他	講師派遣旅費	2			
	計		2	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ウエルト社	対日友好団体代表者間会議の開催業務	1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額	入札者数	落札率
1	個人 A	講習会等の講師	0.3		
2	個人 B	講習会等の講師	0.2		
3	個人 C	講習会等の講師	0.2		
4	個人 D	講習会等の講師	0.5		
5	個人 E	講習会等の講師	0.3		
6	個人 F	講習会等の講師	0.3		
7					
8					
9					
10					